

ブラジル日本商工会議所 業種別部会長シンポジウム 「自動車部会」レポート

2016年8月25日

<2016 年上期の回顧と下期の展望>

どん底の時期ならではの戦略は？
－ 課題整理と対処方策－

➤ 四輪業界動向

1. 2016年上期 振り返り
2. 2016年下期 展望
3. 長期展望
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

➤ 二輪業界動向

四輪業界動向

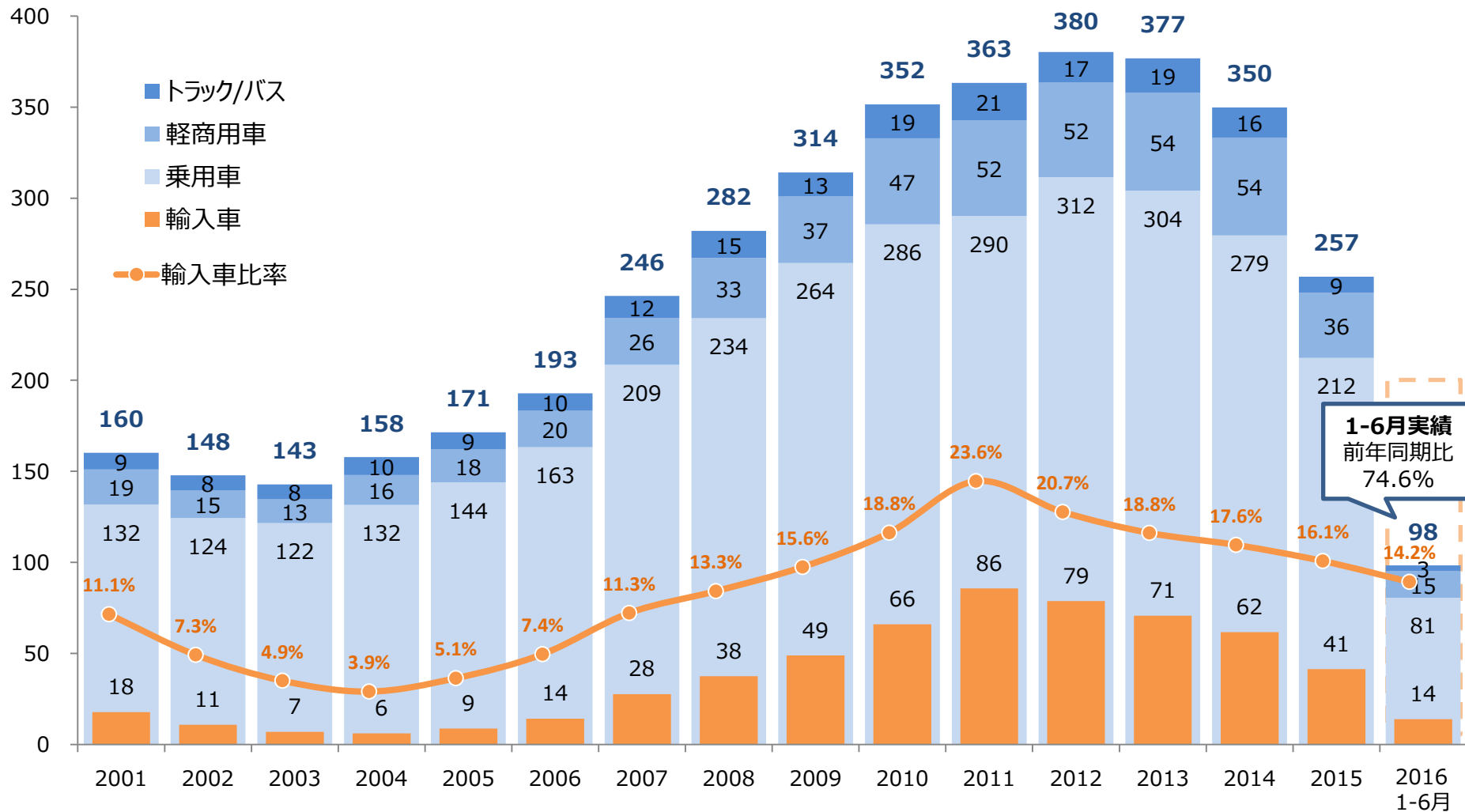
2016年8月25日

1. 2016年上期 振り返り
2. 2016年下期展望
3. 長期展望
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

1. 2016年上期振り返り - 販売台数 推移

(万台)

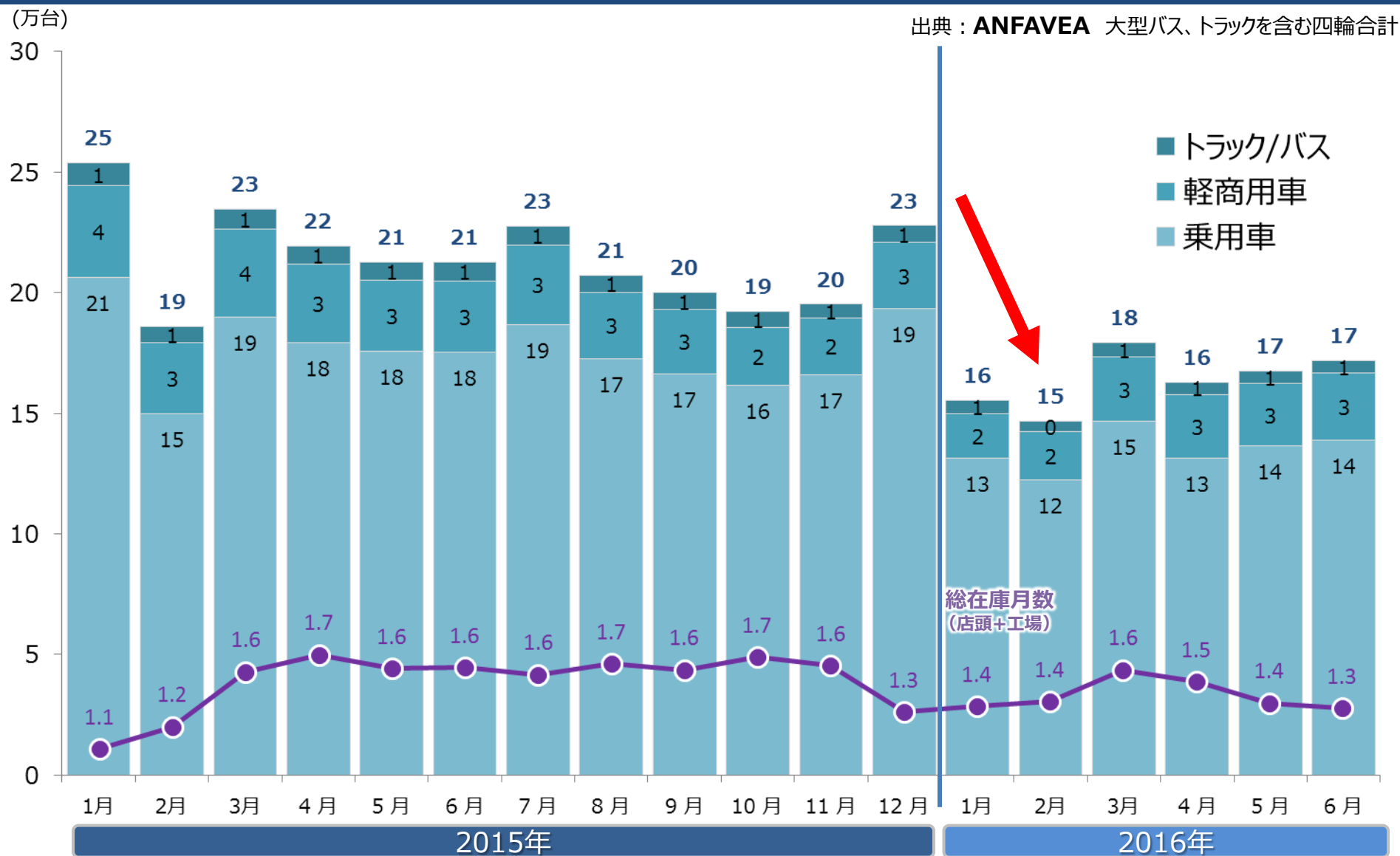
出典：ANFAVEA（ブラジル自動車工業会） 大型バス、トラックを含む四輪合計



1-6月実績
前年同期比
74.6%

- 2016年上期の販売実績は約98万台(前年比：約74.6%)と4年連続で前年同期を下回った
- インフレ抑制政策による金利引き上げや失業率の上昇で景況感悪化
- 輸入車比率は14.2%と5年連続で低下

1. 2016年上期振り返り 一月別販売台数 推移

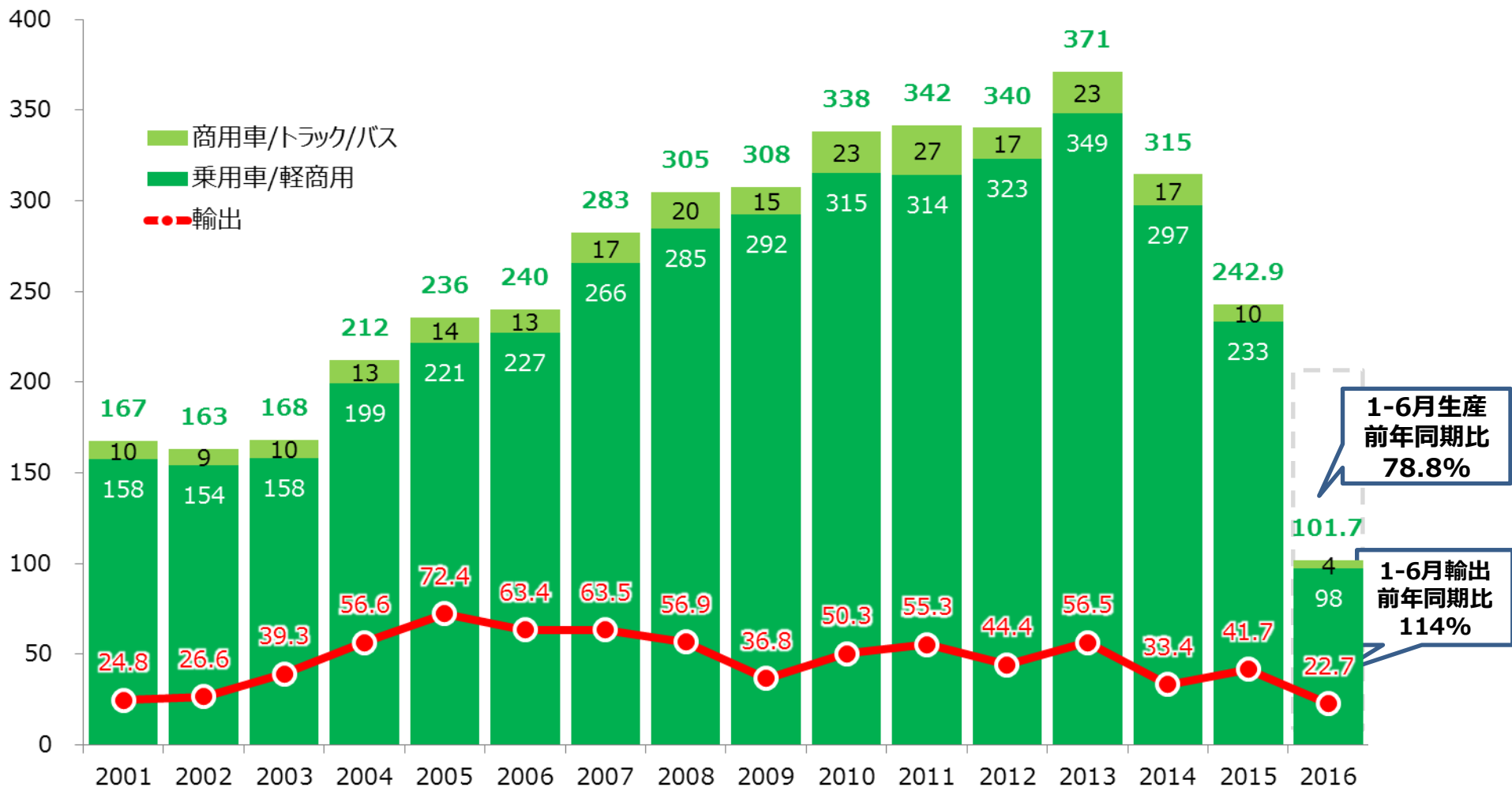


- 2016年1月以降、景況感のさらなる悪化、失業率上昇等の影響により、前年に比べ販売が減少
- 在庫月数は各社生産調整により若干の落ち着きが見られるものの、依然高いレベルで推移

1. 2016年上期振り返り – 生産・輸出台数 推移

(万台)

出典：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず



- 2016年上期の総生産台数は約101万台（前年同期比：78.8%）
- 在庫調整の為、一部メーカーは集団休暇、レイオフ、希望退職、解雇などで生産調整を実施
- レアル安の影響で輸出は増加（前年同期比：114%）

1. 2016年上期振り返り - 輸出台数 カテゴリ別

出典：ANFAVEA/MDIC

◆ カテゴリ別 輸出概要 (単位：台)

カテゴリ	'15年	'16年 1-6月	前年 同期比
乗用車	316,531	178,463	+16.4%
ライトトラック	72,230	34,964	+10.6%
トラック	20,869	9,376	-8.0%
バス	7,325	3,842	+17.7%
合計	416,955	226,645	+14.2%

◆ 輸出相手国別 輸出金額 (CKD含む)

輸出相手国	FOB百万ドル	前年同期比
アルゼンチン	1,660.34	+34.9%
メキシコ	160.69	+43.3%
インドネシア	65.92	-20.8%
サウジアラビア	55.40	*new
コロンビア	50.97	+69.7%

* サウジアラビアへの軍事車輛等

➤ レアル安を受け、前年同期比でプラスとなるも、国内販売の落ち込みをカバーするには不十分

1. 2016年上期振り返り -メーカー・販売店への影響

◆メーカーへの影響(1-6月)

	-集団休暇 (20日間) ※BETIN工場
	-集団休暇 (約4か月間) ※GRAVATAI工場
	-集団休暇 (20日間) -レイオフ (800名) ※SAO BERNARDO工場
	-集団休暇 (20日間) -レイオフ (800名) ※CAMACARI工場

◆販売店への影響



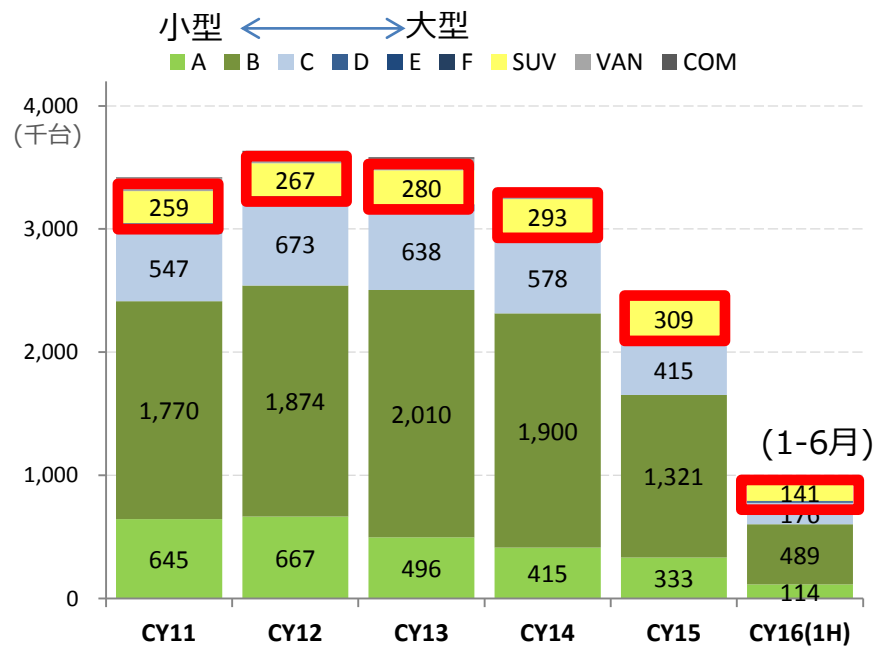
* 間接的影響含むと、124,000人

- BIG4を中心に生産調整(シャットダウン/レイオフ)を継続
※ブラジル全体の稼働平均は44.2%

- 国内で四輪販売店が960店舗閉鎖
- 商用車販売等含めると、1,000店を超えその雇用影響は58千人にも及ぶと推定 (間接的影響を含むと、124千)

1. 2016年上期振り返り – SUV市場

◆セグメント別 販売推移



◆前年同期比

	A	B	C	D	E	F	SUV	VAN	COM
小型	103.3%	97.4%	114.3%	87.6%	148.6%	158.7%	124.5%	111.2%	137.2%
	103.4%	105.9%	123.1%	56.0%	215.0%	74.0%	103.0%	86.9%	157.4%
	74.4%	107.2%	94.7%	98.6%	127.8%	93.5%	104.9%	100.9%	115.9%
	83.5%	94.5%	90.6%	104.6%	102.2%	84.2%	104.8%	82.7%	121.5%
	80.3%	69.5%	71.8%	83.5%	72.6%	42.4%	105.5%	59.5%	76.3%
大型	61.9%	71.2%	82.6%	59.0%	61.9%	65.0%	104.5%	60.9%	65.0%

➤ 15年3月 Honda HR-V / Jeep Renegade発売



➤ 16年8月 Nissan Kicks発売



- 8月にRio五輪と合わせてブラジルで販売を開始、2016年度後半には他の南米市場でも発売
- 将来的に世界80カ国以上に投入予定
- メキシコの工場にて生産。2016年度中には、リオデジャネイロのレゼンデ工場でも量産へ向けた準備を開始する予定

- 他カテゴリーが減少する中、SUV市場のみ各社新車投入等により伸長を続ける
- 8月にはNissan Kicksが発売され、今後SUV市場はさらに活況となる見込み

1. 2016年上期振り返り – 日系ブランドの健闘

単位：千台

出典：ANFAVEA

'15 vs '16
(1-6月)

(47)

(92)

(70)

(5)




























(1)

(54)

(19)

(10)

(6)

'14	台数	シェア	'15	台数	シェア	'16 1-6月	台数	シェア
1st 	698	20%	1st 	439	17.1%	1st 	158	16.6%
2nd 	619	17.7%	2nd 	383	14.9%	2nd 	143	15.1%
3rd 	579	16.5%	3rd 	388	15.1%	3rd 	127	13.4%
4th 	328	9.4%	4th 	267	10.4%	4th 	96	10.1%
5th 	238	6.8%	5th 	206	8%	5th 	85	9%
6th 	237	6.7%	6th 	181	7.1%	6th 	81	8.5%
7th 	196	5.6%	7th 	176	6.9%	7th 	68	7.2%
8th 	138	3.9%	8th 	153	6.0%	8th 	63	6.6%
9th 	72	2.1%	9th 	61	2.4%	9th 	25	2.6%

- 2015年 上位4ブランドが大幅に台数、シェア共に落とす中、日系メーカーは健闘
 ※ 全体の落込みの約78%が上位4ブランドによるもの

四輪業界動向

2016年8月25日

1. 2016年上期 振り返り
2. 2016年下期展望
3. 長期展望
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

2. 2016年下期展望 – 経済

出典：BR中央銀行
(7月22日付)

◆ブラジル経済指数推移

	2011	2012	2013	2014	2015	2016 予測
実質経済成長率 GDP (%)	2.7	1.0	2.5	0.1	-3.8	-3.3
為替 年末予想 (BRL/USD)	1.87	2.05	2.36	2.66	3.90	3.34
インフレ (IPCA - %)	6.5	5.8	5.9	6.4	10.67	7.2
金利 (SELIC) 年末予想 (%)	11.00	7.25	10.00	11.75	14.25	13.25

- GDPの成長見通し (-3%→-3.3%)、及び インフレ見通し(7.03%→7.2%)が悪化。
- 一方、政策金利は 13.25% へ下げられると予想。

2. 2016年下期展望 – 自動車業界

出典：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

◆ ブラジル市場・輸出・生産の2016年予測

単位：万台

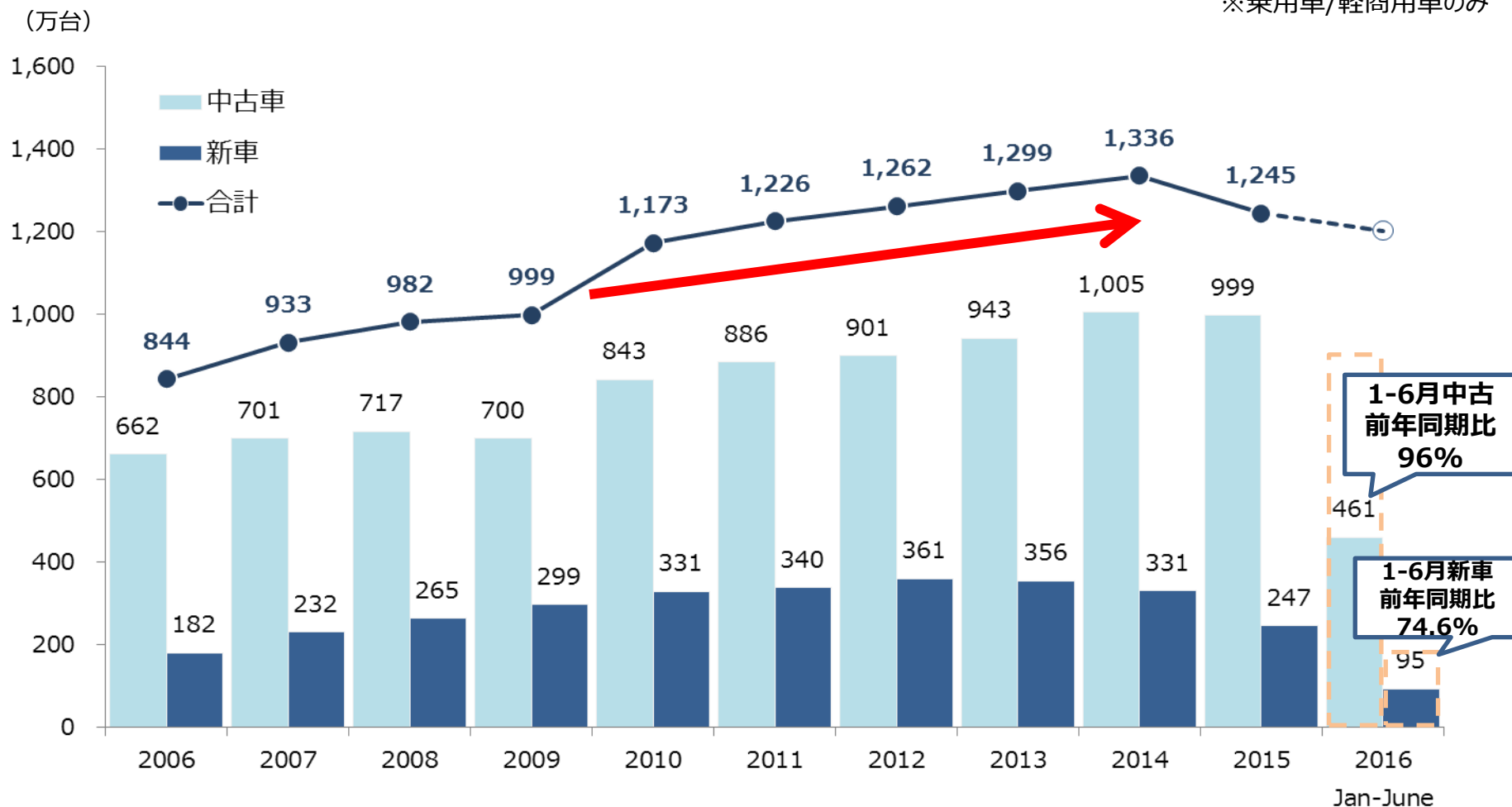
	2015年 実績	2016年当初予測		2016年修正予測	
		ANFAVEA (1月7日発表)	自動車部会	ANFAVEA (6月6日発表)	自動車部会
国内市場	256.9 前年比：-26.6%	237.6 前年比：-7.5%	200～210 前年比：-22～-18%	208.0 前年比：-19%	200 前年比：-22%
輸出台数	41.7 前年比：+24.8%	45.1 前年比：+8.1%	-	50.7 前年比：+21.5%	-
生産台数	242.9 前年比：-22.8%	244 前年比：+0.5%	244 前年比：+0.5%	229.6 前年比：-5.5%	230 前年比：-5.3%

- ANFAVEAは6月に販売台数予測を約208万台（前年比：-約19%）に下方修正
- さらなる景況感の悪化や、失業率の上昇などの影響により更に購買意欲減少
- 輸出はレアル安の影響もあり前年比増となるが、国内の販売減により生産台数は減少する見込み

2. 2016年下期展望 – 自動車業界(中古・新車)

出典：FENABRAVE/ ANFAVEA/FENAUTO

※乗用車/軽商用車のみ



- 中古車市場はここ数年の新車販売減速の影響も受け始め、微減。
- 16年は新車は大幅な落込みが予想されるも、中古車市場は約900万台以上を予想。




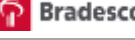
四輪業界動向

2016年8月25日





1. 2016年上期 振り返り
2. 2016年下期展望
3. **長期展望**
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

3. 長期展望 – 経済指標





◆ GDP

Bank	2015*	2016	2017	2018	2019	2020
 BANCO CENTRAL DO BRASIL	-3.8	-3.3	1.1			
 Santander	-3.8	-3.7	2.0	3.0	3.0	3.0
 Itau	-3.8	-3.5	1.0	4.0	4.2	3.1
 Bradesco	-3.8	-3.0	1.5	3.0	3.5	3.5
今回平均	-3.8	-3.4	1.4	3.3	3.6	3.2
前回平均	-3.9	-3.3	0.9	2.2	2.4	2.4
差異	0.1	-0.1	0.5	1.1	1.2	0.8





◆ Inflation

Bank	2015*	2016	2017	2018	2019	2020
 BANCO CENTRAL DO BRASIL	10.67	7.21	5.29			
 Santander	10.67	7.00	5.20	5.00	4.50	4.50
 Itau	10.67	7.21	4.83	4.20	4.16	4.36
 Bradesco	10.67	6.50	4.50	4.50	4.50	4.50
今回平均	10.67	6.98	4.96	4.57	4.39	4.45
前回平均	10.67	7.06	5.55	4.92	4.67	4.58
差異	0.0	-0.1	-0.6	-0.4	-0.3	-0.1

◆ 為替 (BRL/USD)

Bank	2015*	2016	2017	2018	2019	2020
 BANCO CENTRAL DO BRASIL	3.9	3.3	3.5			
 Santander	3.9	3.7	4.0	4.1	4.2	4.3
 Itau	3.9	3.3	3.5	3.6	3.6	3.7
 Bradesco	3.9	3.2	3.3	3.4	3.5	3.6
今回平均	3.9	3.4	3.6	3.7	3.8	3.8
前回平均	3.9	4.3	4.4	4.5	4.7	4.8
差異	0.0	-0.9	-0.8	-0.8	-0.9	-1.0

◆ 金利 (SELIC)

Bank	2015*	2016	2017	2018	2019	2020
 BANCO CENTRAL DO BRASIL	14.25	13.25	11.00			
 Santander	14.25	12.75	10.00	9.00	8.50	8.50
 Itau	14.25	13.50	10.00	8.50	8.25	8.75
 Bradesco	14.25	13.25	10.25	9.25	9.25	9.25
今回平均	14.25	13.19	10.31	8.92	8.67	8.83
前回平均	14.25	13.69	12.19	10.75	10.33	9.67
差異	0.0	-0.5	-1.9	-1.8	-1.7	-0.8

➤ 各行、2015年～16年を底として緩やかな回復傾向を予想

3. 長期展望 – ブラジル自動車市場

前回見直し

長期経済指標や大統領選時期などを総合的に見た場合

ブラジル自動車市場の回復時期は2018年以降と予想

今回見直し

現状の販売状況、および長期経済指標などを総合的に見た場合

ブラジル自動車市場が回復に転ずるのは2017年以降と予想

3. 長期展望 – テメル暫定政権発足後の影響予測

	短期 (～'16年8月?)	中長期 ('16年8月?～'18年12月)
政権	テメル“暫定”政権	仮説 テメル政権
政治	<ul style="list-style-type: none"> 「財政赤字」削減を最優先し、公務員削減、大幅な省庁の統廃合、社会保障制度の見直しに着手 	<ul style="list-style-type: none"> 新体制の下、財政健全化、国の信用回復に向けた本格的な改革を実行
経済政策	<ul style="list-style-type: none"> 現状の経済政策は維持 将来に向けた政策の構築 経済産業界からの理解促進 	<ul style="list-style-type: none"> 税制改定（増税方向） 現地調達促進政策 輸出促進政策
自動車業界への影響	<ul style="list-style-type: none"> 回復への期待の一方、市場は低迷 暫定政権による直接的な影響はなし 	<ul style="list-style-type: none"> 市場は緩やかに回復 増税による影響も予想されるが、優遇政策の行方が鍵となる

- テメル暫定政権下においては、将来的な政策方針の動向を注視
- 17年で終了するInovar Autoの今後含め、業界一丸となった取り組みが必要

四輪業界動向

2016年8月25日

1. 2016年上期 振り返り
2. 2016年下期展望
3. 長期展望
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

4. 日系ブランド 課題への対応

日系ブランドの課題

前回シンポジウムにて
整理した課題と対応

① 厳しい状況に対する事業体質の強化

為替対応を踏まえた部品現調化と
輸出の促進

エンジンベンチ&エンジン工場の新設（トヨタ）

Sumare工場 SEDBA集約（ホンダ）

小型SUV Kicksの取り組み（日産）

生産弾力性向上 と人材育成

労使宣言の締結、製造現場の人材育成（トヨタ）

② 市場回復時の飛躍につながるブランド強化

環境安全規制強化とその対応

ブラジル CAFE(環境・燃費)規制強化

安全規制強化

4. 日系ブランド 課題への対応 — 現地生産と現地開発の強化

背景

- 部品の現調率を向上するためにサプライヤーの技術力の育成が課題
- エンジンの現地生産は現調率向上への重要案件
- ブラジル市場により適した車の開発が課題

5月10日

中南米地域で初となるトヨタエンジン工場の開所式を実施

- 所在地： サンパウロ州ポルトフェリス市
- 生産能力： 年産10.8万基
- 従業員数： 約320名
- 投資額： 約180億円（約5.8億レアル）
- 生産エンジン： 排気量1.3Lと1.5LのNRエンジン（エティオス搭載用）



「シンプル＆スリム」「フレキシブル」をキーワードに、日本の工場でも導入を進めている革新的生産技術を導入。その結果、エンジン工場の主要工程（鋳造・機械加工・組み付け）を一つの建屋に集約し、コンパクトで需要変動に強い工場が完成。

8月22日

中南米地域で初となるトヨタ技術センターの開所式を実施

- デザイン・ラボ：ブラジル固有のデザイン導入予定
- 材料ラボ：部品現調化に向けて材料を独自に研究

期待される効果：

- エンジン部品の現調率向上により、為替の影響とコストの低減を目指す
- ブラジルのお客様により適した商品の提供
- São Bernardo工場におけるエンジンベンチ新設と併せた現調化のスピードアップ、およびローカル・サプライヤーの育成と技術力向上

4. 日系ブランド 課題への対応

日系ブランドの課題

前回シンポジウムにて
整理した課題と対応

① 厳しい状況に対する事業体質の強化

為替対応を踏まえた部品現調化と
輸出の促進

エンジンベンチ&エンジン工場の新設（トヨタ）

Sumare工場 SEDBA集約（ホンダ）

小型SUV Kicksの取り組み（日産）

生産弾力性向上 と人材育成

労使宣言の締結、製造現場の人材育成（トヨタ）

② 市場回復時の飛躍につながるブランド強化

環境安全規制強化とその対応

ブラジル CAFE(環境・燃費)規制強化

安全規制強化

4. 日系ブランド 課題への対応-環境安全

環境

6月 トヨタ new Prius ブラジル発表

- ハイブリッド車『4代目新型プリウス』を6月7日、ブラジリアで発表、「持続可能な社会の実現に向けて、ブラジルの自動車産業の未来を牽引してゆく」とアナウンス。
- ハイブリッド車の輸入関税は35%から4%引き下げされ、サンパウロ市やリオ市では自動車保有税が半額返還。サンパウロ市内の通行規制も免除など、官民一体で普及を進める。



安全規制

- ◆ 側面衝突 技術規格(NBR std.) 2018年8月有効
- ◆ 灯火器 法規改訂提案(UN-R, FMVSSベース) 2016年2月提出 (有効となるタイミングは未定)

国連法規UN-R正式加盟を見据えて、ブラジル法規も国際基準に調和していく予想

- 環境安全技術で優位に立つ日系メーカーにとっては、将来の市場回復に向けたブランド強化の切り札となる可能性

四輪業界動向

2016年8月25日

1. 2016年上期 振り返り
2. 2016年下期展望
3. 長期展望
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

5. 総括 – まとめ

2016年 上期実績/下期展望

- ジウマ大統領の弾劾手続き継続が下院で採択された4月以降、一部経済指標で若干の改善が見られる。
- 自動車市場における消費者購買意欲は上向かず、需要停滞継続。

状況を踏まえた対応

- 政治経済の急激な変化が今後も起こり得るという前提の下、中長期の方向性は変えず、環境変化に負けない事業体質強化が一層求められる。
- 引き続き、為替対応を踏まえた部品現調化や生産性向上などにより、コスト低減、および輸出促進を図る。
- 現調化や輸出のさらなる加速には、ブラジルの国際的コスト競争力向上が鍵となる
- 税制改革や裾野産業の育成など、低いコスト競争力を打開する恒久的な取組みが官民連携の下で必要

5. 総括（政府への提言）

政府および自動車業界の取り組みと課題

- 1) 新技術導入を促進する適切な自動車政策
 - 新技術を搭載した商品のブラジルのお客様への提供、ブラジルへの新技術集積

- 2) 自由貿易政策／輸出促進政策
 - ブラジル製車両の輸出拡大に向け、短期の経済情勢や貿易収支動向に影響を受けない一貫した政策の継続

- 3) 人材育成
 - エンジニアや熟練労働者等、技術開発やモノづくりの分野でリーダーシップを発揮できる人材育成

- 4) 協調的な労使関係
 - 生産性向上、および持続的成長に向けた労使協力（労働環境の改善、柔軟な生産弾力性の確保）

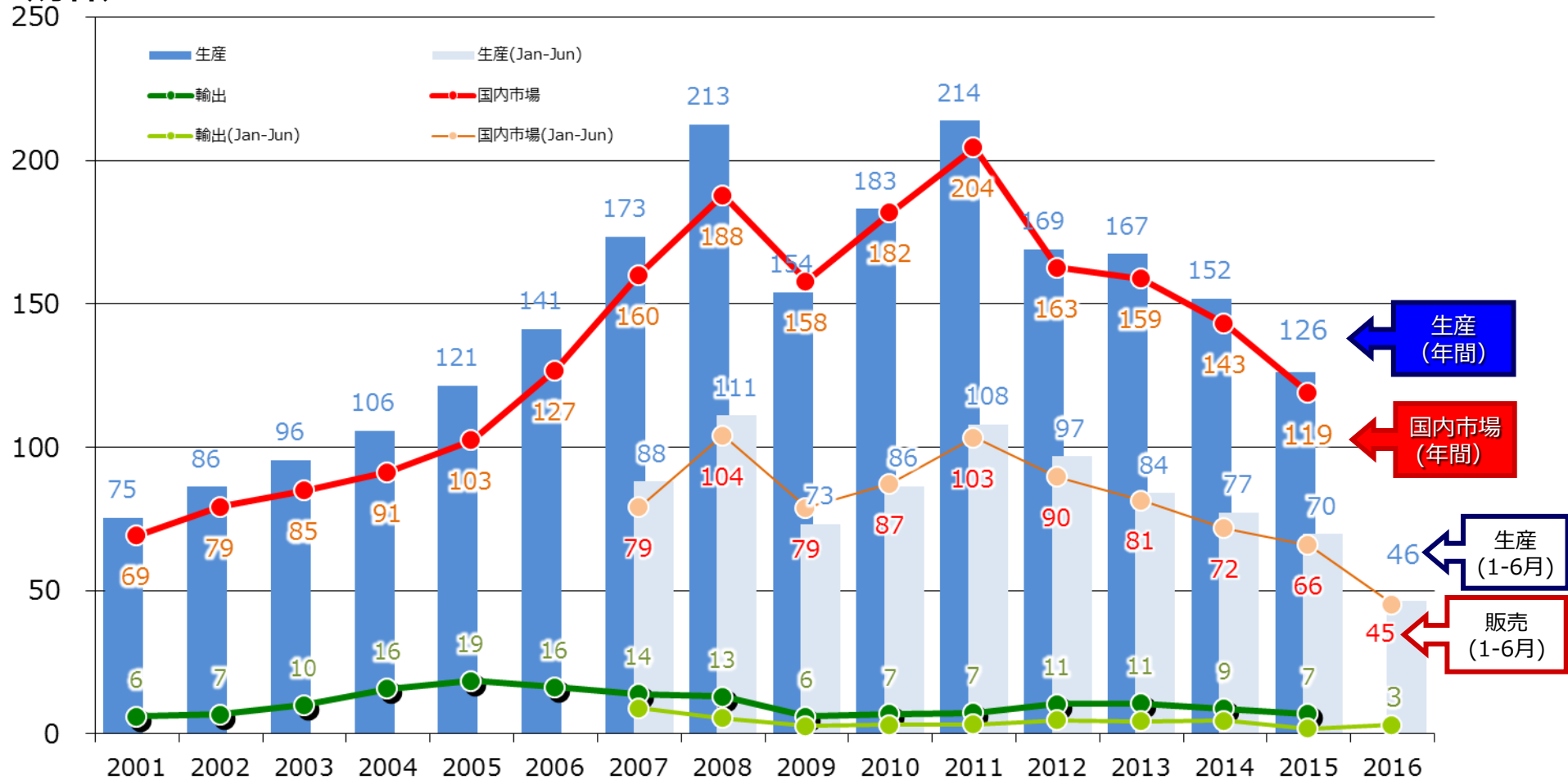
- 5) 人的交流
 - 日伯関係のベースは人的交流

二輪業界動向

二輪車 生産・販売 推移

(万台)

出典:Abraciclo



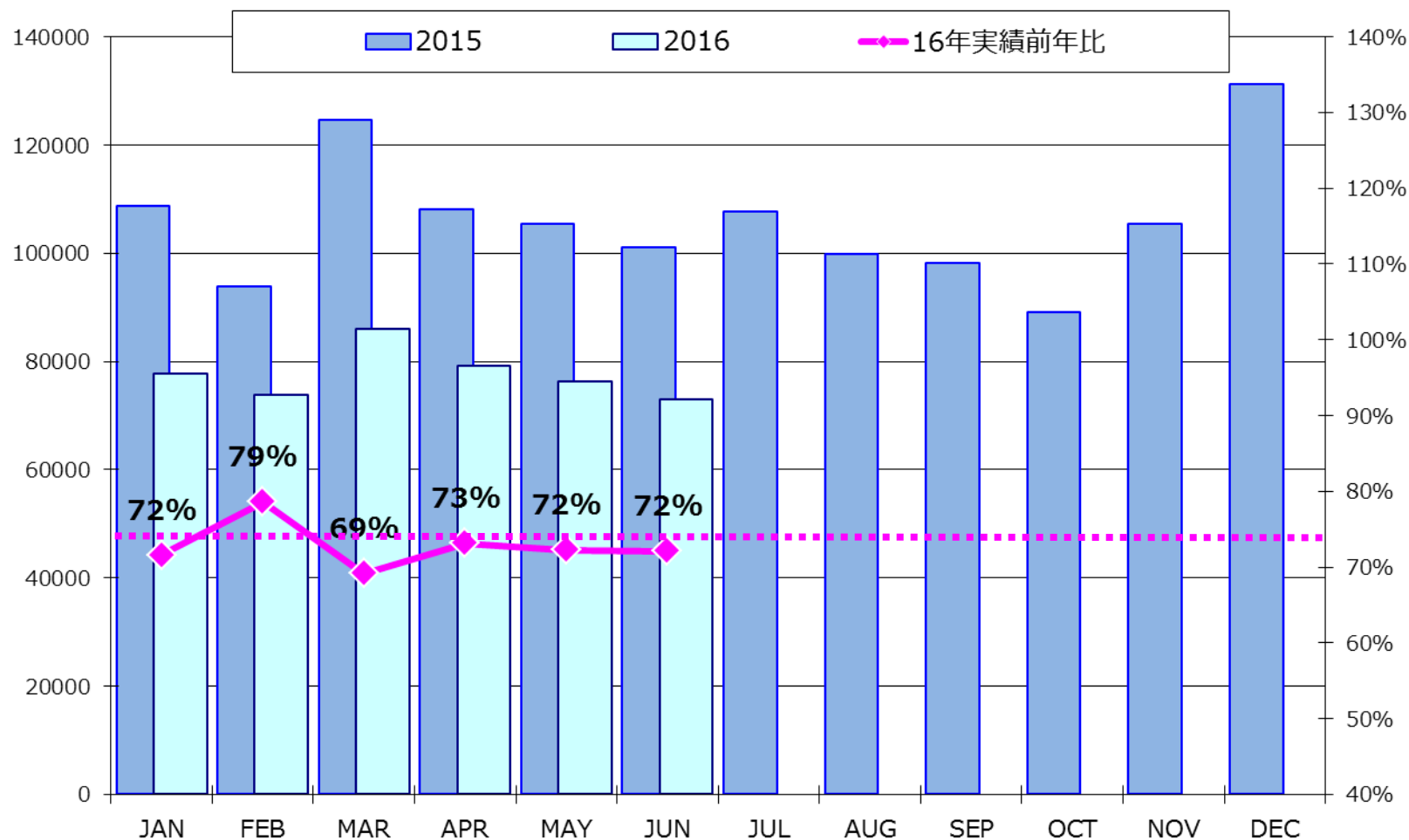
2016年上期実績

卸 45万台(前年比69%)
 生産 46万台(前年比67%)
 輸出 3万台(前年比170%)

インフレ・レアル安・解雇増等の経済環境悪化により、
 二輪市場は前年比7割程度の厳しい市場環境となる
 レアル安を背景に輸出台数は大幅増加

二輪車 月別販売推移 (2015年vs2016年)

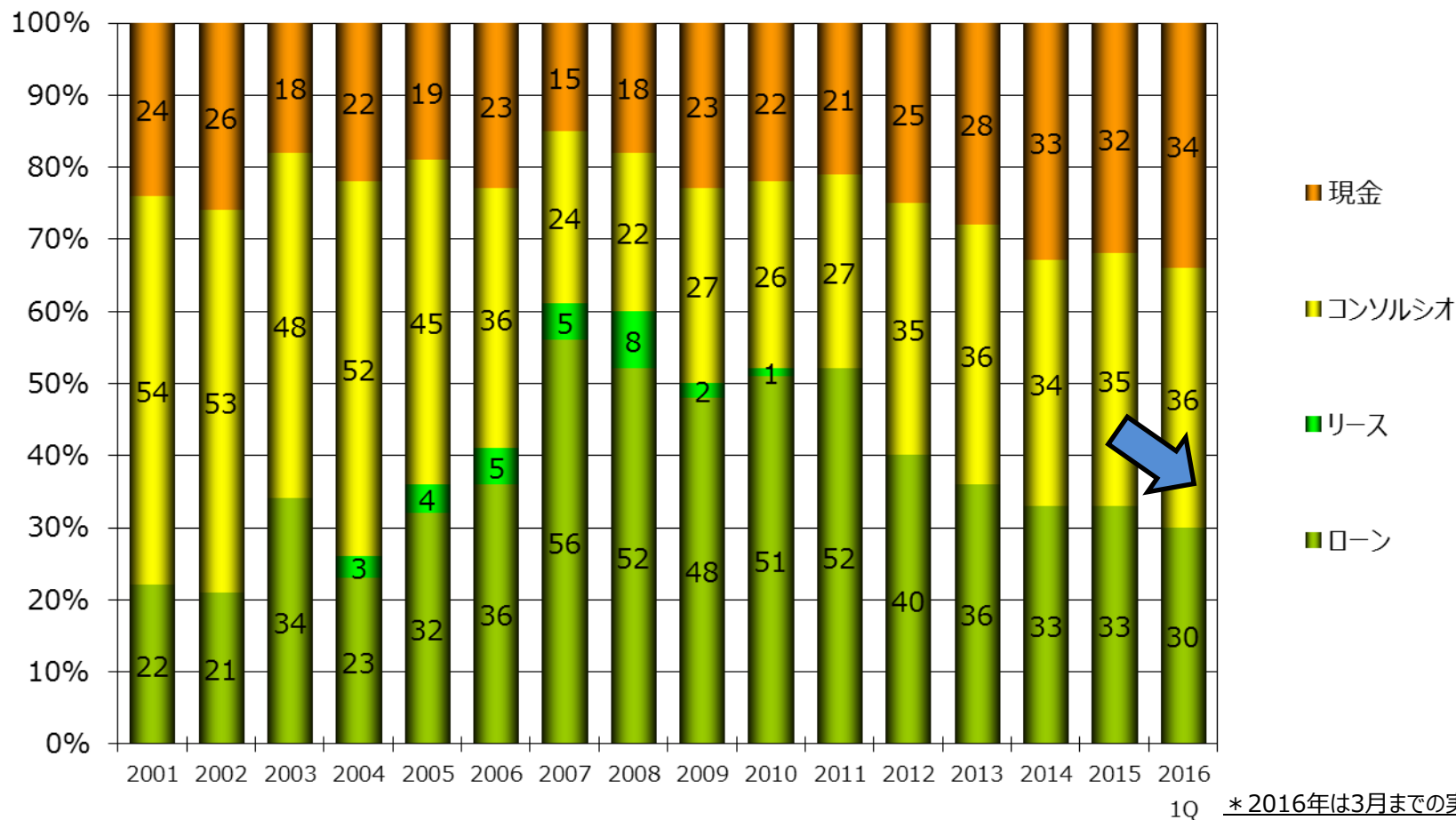
登録データ(DETRAN)



失業率の上昇や顧客の購買力低下によって、16年上期累計は前年比73%と大幅前年割れ。
負債や金利の高止まり等により、下期も厳しい市場環境が予想される

二輪車 支払形態別 販売比率

※出典: ANEF(自動車メーカー系金融会社協会)



ファイナンスの与信審査厳格化が2016年も続き、ローン販売比率は更に低下。

Obrigado!